



「第2寮道」開通

令和3年度の社会福祉充実計画に基づく整備事業が先般完了しました。2ヶ年計画で進めてきた事業ですが、3月末に無事竣工を迎え、4月より通行可能となっております。本事業は、自然災害時における事業継続機能の強化を目的として施設に出入り可能な道路をもう1本整備し、避難経路等の確保を実現するため実施しました。土砂災害などで一方の道が塞がれても、第2の道路によって生活に必要な機能維持や事業継続が可能となります。

工事に際して、周辺道路を行き来される方や、近隣住民の方々にはご理解とご協力をいただきました事感謝申し上げます。

春の暖かい日差しから、徐々に汗ばむ陽気を迎えた今日この頃、天気の良い日はもっぱら利用者さんの散歩コースとして大活躍しております。

研修報告

日中活動支援について

生活支援員 藤木 博文

この度九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会に参加させて頂きました。私は生活介護事業所で在宅の方の日中支援に従事している事から日中活動支援部会の研修に参加しました。

日中支援部会での研修は、コロナとの共存という社会の流れの中で、持続的な社会生活支援に向けてどういう取り組みや支援を行っていかについで、ディスカッションや、各施設の取り組みについての事例発表がありました。

その中で印象に残った施設の取り組みとして、コロナ禍で営業出来なくなったカフェスペースを地域の学生にスタディスペースとして開放されたケース。地域の自治会に施設が所属し高齢者宅で要望がある古紙の回収を行い、別の施設では高齢者や障害のある方の自宅にお弁当を配達するサービス事業に取り組みられました。また、古紙回収が行われている事業所では自治会や地域の方との親交を通じて地域との絆が深まったと話されていた事に感銘を受けました。

どの施設も感染症対策を講じながら地域交流や社会生活支援に工夫や知恵を出しながら、時に視点を変えて検討されているように感じました。

当事業所でも以前はそうめん流しやバーベキューを行っていると近所の子供さん達が遊びに来たり、公園歩行の時にすれ違う方と挨拶や言葉をお交わす事で事業所を知って頂き、交流に繋がっていたと思っています。

社会では制限が軽減していく中で今後何が出来なのか、どのような取り組みを行ったら良いのかを職員間で話す良い機会になりました。歩行の時間にゴミ拾いを行うという意見や、近くの公園やトイレの掃除等の社会貢献活動の実施の他、以前の様にイベントの際は地域の方にご参加頂いてはどうか、という意見が出ました。現時点ではどれも検討の段階ですが、地域に根ざした施設を目標に、利用者の方が楽しみなから社会生活活動を営める様に今後も模索しながら取り組んでいきたいです。



研修報告

施設での看取りについて

生活支援員 入船 友輔

この度、熊本県介護会主催の看取り取りについてのセミナーに参加させて頂きました。

最初に講師の方から看取りとは特別なものではなく、普段の介護の延長線上にあるというお話がありました。看取りをするからと言って特別なことは何もないそうです。今回は、本人が安心して楽に最期を迎えられるような支援をする際に重要となるアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の考え方を学びました。この中には覚悟（方針）、想い（考える）、信頼（関わる人全て）という3つの柱があります。

1つ目の覚悟（方針）はいわゆる本人の希望です。家、または病院、施設の「どこで過ごすか」というニーズ。次に入院をして点滴のみまたは胃ろうをするといった「食べられなくなったらどうするか」を本人と家族で話し合いつつ決めておく必要があります。施設や医師はその話し合いがスムーズにいくようサポートする事が大切です。

2つ目の想い（考える）は本人の事を良く知っておく事にも繋がります。病気の状態や老衰を迎えようであるなど、本人の今を知る事にもなり、死期へ向かう際にどのような衰え方をし、体に変化していくかについては大方予測が出来るといふ見解もあります。例えば癌の場合、急激な身体機能の低下が見られます。内臓疾患の場合には良くなったり、悪くなったりを繰り返し死期に向かっていきます。

3つ目の信頼（関わる人すべて）については本人の周り、全ての関係者（医師、介護職員、栄養士、家族など）を指します。みんな協力して看取っていかねければならない状況では、お互いのしっかりとした信頼関係の構築は欠かせないものになります。もしもその中で少しでも連携が取れていなければ利用者に対して十分に支援は出来ないでしょう。今回の研修を受け、看取りを迎える方のご家族や全ての関係者との連携や信頼関係の構築について学ぶことが出来ました。今回のセミナーで学んだことを活かし、『その方にとっての幸せな最期』を迎えられるよう支援していきたいと思えます。



節分



鬼は外〜♪
福は内〜♪
皆さんいい笑顔😊



ひなまつり



お内裏様とお雛様で
写真撮影(#^.^#)



♪～お楽しみ会の様子～♪



花見🌸
ドライブ
外出🚗



事業所紹介

相談支援事業所 な さん か い



「相談支援事業所なさんかい」は現在3名（女性2名、男性1名）の相談支援専門員が在籍しており、障がいのある方ご本人やそのご家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言等を行っています。併せて障がい福祉サービス等を適切に利用できるようサービス等利用計画を作成し、市町村やサービス事業所等と連絡調整を行う等、中立的な立場で支援に携わります。

また社会福祉法人の社会貢献活動として、生計困難者レスキュー事業（生計困難者が公的な制度やサービスなどを受けられるようになるまでの間、必要に応じて生活必需品の給付、一時的な住まいや食事の提供等の経済的援助）も行っています。平成29年度より事業を開始し、これまで40件を超える相談を受けています。

当事業所は南海寮の本体施設と併設しており、利用者さんも気軽に相談に来られます。相談といってもお茶飲んだり、昼休みにオセロや本を読んで楽しまれたり、アットホームな雰囲気の相談室となっています。

相談に関わる費用（自己負担）はありませんので、お気軽にご相談ください。

スタッフから一言ずつ…

昨年4月に入職し一年が経ちました。日々、先輩スタッフから優しく愛のあるご指導をいただいているせいか、体重増加に歯止めがききません。コロナもただただで入職し、交流の機会も少なかったですが、今後はいろんな行事等で皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

（原田幸真）



南海寮に入職してはや20年相談員として10年目になりました。相談員が増えたことでパワーアップ中です！

楽しい雰囲気、笑顔をもっとに3人で協力しながら頑張っています！

（松本かおり）

私事ですが、R5年3月で息子が1歳になり、現在仕事と子育てに奮闘中です！家族や周りの方の優しさに感謝しながら、日々を大切に頑張りたいと思います。

（山本富喜子）

あいむだより



～自治会～ ※自治会とは、利用者により選出された利用者代表（会長）を中心にあいむの活動や行事、イベント等の他、職員に対する意見や要望を発言、発信して頂く利用者の会です。

3月の自治会では来年度はどんな事をしたいか？こんな活動をしたい。〇〇に行きたい。等の希望や意見を皆さんにお尋ねしました。自治会が始まる前から緊張で顔が固まっている方がチラホラ見受けられましたが、話し合いが始まると「寿司を食べたい」「旅行に行きたい」「農作業を頑張りたい」「仕事（役割）を頑張る」等、一人一人の熱い想いを聞く事ができました。緊張が解けて意見がたくさん出たのも、自治会後に控えたお菓子効果？だったかもしれません（笑）

～清掃活動～

3月末環境美化の日の活動として、あいむ周辺のゴミ拾いやご近所の方から声があった歩道の落ち葉拾いを行いました。普段車で通る時には気付かなかったお菓子袋やペットボトルの他、マスクやポリ手袋等以前は捨てられていなかった物も落ちていました。周辺のゴミ拾いを定期的にしていきたいね。と話をしていたので、この機会に実施する事ができてよかったです。今後も定期的に取り組み、地域のお役に立てる事業所でありたいと思いました。

～桜 sakura～

今年は本体施設に桜を見に行けました！令和5年度はたくさん外出できますように。

